

会 議 記 録

会議名称	令和6年度第3回通学路安全対策推進懇話会
日時	令和7年2月17日（月） 午前10時00分～午前10時45分
場所	秦野市役所教育庁舎3階大会議室A
出席者	別紙「出席者一覧」のとおり
次第	別紙「次第」のとおり

会議の内容は、次のとおりです。

事務局
教育部長

<開会>

<教育部長挨拶>

先月、埼玉県八潮市において、道路の大規模な陥没事故が発生した。事故現場付近は通学路にもなっていることから、迂回して登下校する必要があるため、教職員が付き添いを行っており、子どもたちにも大きな影響が生じた事故であった。

八潮市の事故を受けて、本市でも主要な下水道管路施設において、緊急点検を実施し、緊急的に補修等が必要となる異常はなかったという報告があったため、まずは安心している。今回のこの事故は学校で実施している通学路合同点検では予見が難しいため、関係部署と連携しながら引き続き安全確保に努めていきたい。

皆様から様々な視点のご意見をいただきたい。

<議題1 通学路整備要望への対応状況について>

～資料1、1-1について説明～

事務局
吉田委員（自治会）

令和7年度以降の対応予定箇所にも令和3年度要望のものが残っている。できるのであれば、そういったものから対策してほしい。

鈴木座長

路面標示はハード整備より対策しやすく、採用されているケースが多いが、それでもできない理由や特徴等があれば、今後情報共有してほしい。

宇佐美委員

対策不可の内容についてはどういったものがあるか。例えば

	<p>民地に対するもので対応不可の場合、所有者に対して要望等しているのか。</p>
事務局	<p>対策不可については、民地のため、対策ができないというものが多くある。そういった場合、市では執行ができないため、所有者へ文面等にて依頼をしている。</p>
宇佐美委員	<p>例えば木の剪定については、今回法令が変わって、道路にはみ出しているものは切ってよいということになっていると思う。そういったことも難しいということか。</p>
建設管理課	<p>所有者がいる場合は、所有者に承諾を得る必要があり、勝手にやることはできない。所有者がはっきりしている場合は、まずは順を追って進めていかなければならない。</p>
宇佐美委員	<p>第1回通学路安全対策推進懇話会の中でハンプについて話が上がり、騒音問題となるという話があった。例えば騒音問題が起きない対策は考えられるのか。</p>
建設管理課	<p>立体的に見せるようにカラーを使ったイメージハンプを設置し、視覚的に訴えることについては対策案の一つとして考えている。</p>
宇佐美委員	<p>実施した対策に対してどの程度効果があったのか検証はしているのか。</p>
建設管理課	<p>近隣の住民の方にヒアリング等の実施は検討していく。</p> <p>イメージハンプは、1箇所のみであり、その他の展開については今後検討していきたい。</p>
宇佐美委員	<p>対策には多くのお金がかかるため、実際に効果があるのか確認できるようにしていく必要がある。</p>
事務局	<p>本市としても要望に対する対策を検討する中で、そういった効果検証を進めていく必要があると考えている。</p> <p>どのように進めていくのか難しい部分もあるが、今後の対策案の中で、新しい対策やイメージハンプのような事例が少ない対策について、効果検証を進めていきたいと考えており、鈴木座長にもご意見をいただきながら、検討していきたい。</p>
吉田委員（自治会）	<p>イメージハンプは実際に道路を利用したが、よい対策だと思う。</p>

鈴木座長

ハンプは逆に事故を起こすのではないかと思うような大きな段差がつけてある。

また、要望として出ていてまだ実施していないものは積極的に対策していただきたい。そうしないと効果も確認できない。

対策できないものはなるべく減らせるようにしてほしい。選択肢を増やす意味でもやってみて、それが選択肢になるか、ということも重要である。

対策を検討して、実際にはできなかった、もしくは実施済みになったという流れがあると思うが、その段階で何件あったかを把握、共有したほうがよい。

～その他意見等なし～

事務局

<議題2 通学路安全対策の実施に係る予算の状況について>

～資料2について説明～

吉田委員（自治会）

令和6年度の予算の執行状況について、例えば、道路整備課の歩道整備及び道路拡幅に伴う用地買収等となっていて、約86%が執行済みになっているが、資料1では歩道整備・拡幅は令和8年度以降実施予定になっている。

建設管理課

市道71号線で工事を実施していて、この予算は用地買収と補償のための予算となっている。工事自体は完了していないため、令和6年度の実施件数には含まれていない。

吉田委員（自治会）

どこまで進んでいるのかも共有してもらいたい。

事務局

動いている対策案があって、次年度以降に持ち越しているもので進捗があれば、共有できるようにしたい。

～その他意見等なし～

事務局

<議題3 その他 >

～資料3, 4, 5について説明～

鈴木座長

資料5の交通事故について、

ショベルカーと衝突した事故だと思われるが、子どもが飛び

事務局

出してしまったのか。

子供がルールを守らず飛び出してしまうケースも結構ある。

スピードを出して走れば飛び出しになってしまい、交差点での事故が起きてしまう。

飛び出したりしないよう指導はしていると思うが、ルールを話すだけでは理解しづらい部分もあるため、事業者の協力を得ながらみてもらう交通安全教育は良いと思う。

見守りサポーターの見直しにあたり、現状課題になっていることはあるか。

今年度登録者数が伸びていないことも課題だと考えているが、登録者との接点がないことが課題であると考えており、活動状況の確認や日頃の活動の中でのご意見や要望等を伺ってきたい。

その中で課題が出れば、懇話会でもお話しできればと考えている。

吉田委員（自治会）

自治会は役員が定期的に時間や場所を明確にし、見守り活動を実施しているが、見守りサポーターがそういった縛りが無い。

見守りサポーターについて、校長先生と話をしても、活動等についてよく把握されていないため、一度制度そのものの見直しを図る必要があると思う。

どういった実態があるかというところを調査し、共有してほしい。

鈴木座長

小学生の自転車の違反状況について研究を行った。子どもはヘルメットを着用しているが、保護者が着用していないケースが多くある。

また、保護者が交通ルールを守っていないため、子どもも守らない。交通ルールは複雑であるため、子どもだと難しい部分はあるが、子どもだけの場合は、特に交通ルールを守らない。

保護者に対して働きかけを行うことが大事であるため、保護者に向けた交通安全教育等を実施していただきたい。

地域安全課

警察とも連携し、保育園等の送迎の時間帯に、保護者に対し

て、ヘルメット着用等について啓発を行っている。今後も進めていきたい。

～その他意見等なし～

<閉会>